

# 常なる磐

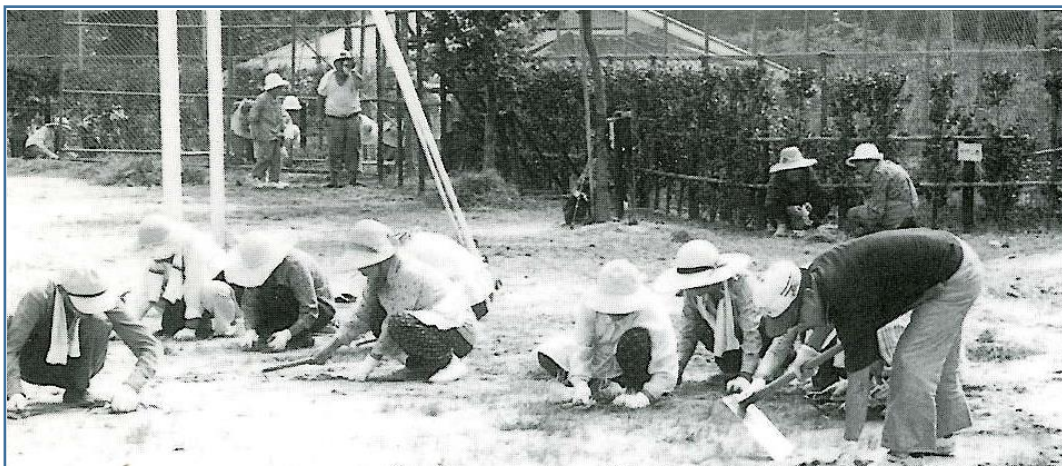
つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 5月 20日(金)

その2 通算 229号

## ◇ 寿ふれあい活動 (5月10日・火)

【寿会奉仕活動】。 毎年、「5 町常東寿会」と「米河内寿会」の両会にご協力いただいている奉仕的作業であるが、活動を紐解けば、その活動の歴史は古い。



寿会の方の奉仕作業  
(平成二年度)  
暑い中ほんとうにご苦労さ  
までした。

記念誌「移転・新築 五年の歩み(平成4年3月発刊)」より転載



学校の移転新築は昭和62年4月。写真は2年後(平成2年度)であることから、すでに30年以上続く活動だ。※上写真。繁茂する鬼芝が確認できる。当時から難敵だった。2年前迄は寿会任せであったが、昨年の「窓ふき」から児童も参加させている。変更決断の契機となったのは、下の写真。『寿会の方にほうきの作り方を指導していただきました。』とある。

「お任せ」は、やはりよくない。  
共に行くからこそ感謝が生まれ、つながりも太くなる。



寿会の方にほうきの作り方を指導していただきました。



昨年の米河内寿会のお手伝いをお借りした「窓ふき」は、修学旅行と開催時期が重なり、活動の様子をよく確認できなかった。→→→



教頭から「やってよかったですよ」との報告は受けていたが、今回は初めての現認。

実際にやってみて、まさしくそのとおり。言葉はなくとも、子供の姿が伝えてくれる。子供の表情が全てを物語る。下写真を見ていただければ、「協働活動」の成果は分かっていたいただけるだろう。



二九名のご協力



☞ 児童と地区の方との会話が写真を通して聞こえてきそう。



「ふれあい」こそ活動最大のねらい。今回も大成功だ。

装いを新たにして本格開始の【寿ふれあい活動】。次回は9月20日(火)。今度は常東寿会の力をお貸しいただいての「窓ふき」。今から楽しみである。